

し えんれんけい そうだん 支援連携 ・ 相談だより

ふじさわようごがっこう
藤沢養護学校

し えんれんけいぐる ーぶ
支援連携グループ

No. 2 平成 30 年 7 月 9 日

今年はあつという間に梅雨が明けて夏が来ましたね。気候の変化に体を合わせていくことがなかなか難しい日々です。そんな中でも今回は元気いっぱいのダンスチャレンジ教室や保護者学習会の報告です。また夏休みに向けて進路支援班からお知らせがあります。ぜひご活用ください。

♪ダンスチャレンジ教室が行われました！

6月23日（土）に本校では4回目となるダンスチャレンジ教室が開催されました。

地域の小学校からの参加者を含めて本校、分教室、家族の方々あわせて41名の参加がありました。

講師のキハリュウ先生の思わず釘付けになるダンスを見ながら、いろいろなステップ、ターンとクールなダンスを教えてもらいました。最後は舞台上がってダンスタイム！保護者の方も肩こりに効く！？と思わぬ効果もあったようです。

次回の開催は10月27日です。親子でリフレッシュタイムにいかがですか？

ほごしやがくしゅうかい おこな ～保護者学習会を行いました～

6月26日（火）に、鎌倉市基幹相談センターの三井さんを講師にお招きして、

「福祉サービスの体系と活用の仕方～一歩先を考える～」というテーマで保護者学習会を行いました。

学部を超えて44名の保護者の皆様の参加がありました。卒業後の暮らし方について在学中から考えていくことが大切だという視点でお話をさせていただきました。以下はお話の中にあつたポイントです。

- ・卒業後の暮らしについては「本人の望んでいること」を中心にして考える。現段階では本人の希望、保護者の希望、支援者の見立てが違っていることは当然だが、本人の思いに寄り添っていく。
- ・将来、グループホームの利用を想定している場合は、今からショートステイを利用して少しずつステップアップしていくことが大切。グループホームも居室の形態、支援の方法は様々であるため本人に合う場所を考えていく。
- ・放課後デイサービスの事業所が増え利用も増えているが、卒業後利用できなくなることを想定して段階的に減らしたり余暇の過ごし方を探したりと卒業後の準備をしていく。
- ・将来の年金の受給についてはこれまでの成長にともなう記録（あゆみや個別教育計画など）をまとめておく

ことが大切な資料となる。

などなど、気づいた時から考え動いていくヒントをいただきました。その中で、鎌倉市の取り組みとして、将来に向けて、これまでの支援、これからの支援について保護者がまとめていく「サポートファイルかまくら」について紹介されました。地域生活支援事業（移動支援や日中一時支援など）は市によって内容が異なりますが、相談班でも各市の情報をさらに集め、皆様へお伝えしていきたいと思っております。

しんろしえんはん

進路支援班より



夏休みに、高等部卒業後の進路先の福祉事業所を見学をしてみませんか？

進路ハンドブック(2018年版・うす緑の表紙)の16ページから「事業所一覧表」が載っています。所在地、

活動内容などから興味があるところを選んで、まずは電話で見学を申し込んでください。今回は、電話で

の申し込み例を載せました。事業所見学がスムーズにできるように参考にさせていただければと思います。

※見学のポイントは「学校便り7月号」を参照してください。

※☆マークの福祉事業所、特例子会社は家庭(個人)での見学はできません。学校主催の見学会の参加を

お願いいたします。

☎ 電話のかけ方(例) ☎

事業所：「藤沢ホームです。」

保護者：「藤沢養護学校高等部〇年生の保護者で〇〇といます。見学の申し込みで連絡しました。」

⇒学校名、氏名を伝えてください。

事業所：「見学ですね。日時はいつがご希望でしょうか。」

保護者：「7月25日か7月26日の午後13時のご都合いかがでしょうか。」

⇒希望日、時間を伝えてください。※希望通りになるかどうかは事業所の都合にもよります。

事業所：「7月25日であれば大丈夫です。お子様も一緒ですか。」

保護者：「はい、一緒です。」

⇒お子さんも一緒かどうか、他のご家族が一緒の場合もその旨、連絡してください。

事業所：「わかりました。それではお待ちしております。」

保護者：「よろしくお願ひします。失礼します。」